

岩内町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

岩内町には鉄道がなく、町外への公共交通手段としては、主として路線バスがその役割を担っている。町の中心部に位置する岩内バスターミナルを起終点とし、札幌市、小樽市、寿都町、神恵内村、倶知安町まで運行しており、幹線交通については一定の交通サービスを充足しているが、町内移動や幹線交通に接続するためのフィーダー交通が不足している状況にある。

このため、平成28年10月より町内を循環する「いわない循環バスノッタライン」の運行を開始し、高齢者や障がい者等の交通弱者の通院や買い物などの町内移動、幹線交通に接続するフィーダー機能の役割を担っている。

また、いわない循環バスノッタラインが循環していない地域や、北海道中央バス(株)が運行していた「岩内円山線」の廃止によって拡大した交通空白地域が存在していたことから、令和2年6月より「岩内町円山地域乗合タクシー」の実証運行を開始し、有用性があると判断されたことから、令和5年6月より本格運行となった。

住民ニーズに合った交通サービスの提供と地域公共交通の利用拡大を行うことで、住民がより安全で安心な暮らしを実現するための持続可能な地域公共交通の確保・維持・改善が今後も必要である。

生活交通確保維持改善計画の目標

・通院や買い物など生活面での利便性を確保するとともに、地域活性化に資する地域公共交通をめざす。また、広報活動や利用促進に向けた環境整備を継続して行い利用者の増加を図るとともに、誰もが安心して利用できる運行の実現を目指す。

【目標】いわない循環バス

- ・利用者数 45,000人/年 R6.10～R7.9実績 39,121人/年
- ・全体経費に占める運賃収入の割合 25.0%(R6.10～R7.9実績 運賃収支率21.9%)

【目標】乗合タクシー

- ・利用者数 7,000人/年 R6.10～R7.9実績 4,626人/年
- ・全体経費に占める運賃収入の割合 15.0%(R6.10～R7.9実績 運賃収支率12.4%)

地域公共交通の現況

- ・ニセコバス株式会社 (雷電線、小沢線)
- ・北海道中央バス株式会社 (高速いわない号)
- ・岩宇地域公共交通活性化協議会 (岩宇地域海岸線)
- ・株式会社キングハイヤー
- ・Niseko International Transport株式会社

協議会開催状況

- 【○令和7事業年度中3回開催／●令和7年度計画を議題に含む開催】
- 令和6年6月24日(月) 第35回協議会
 - ・令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について
- 令和7年1月14日(火) 第36回協議会(書面開催)
 - ・令和6年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)について
- 令和7年3月17日(月) 第37回協議会
 - ・いわない循環バス、円山地域乗合タクシー運行について
- 令和6年6月24日(月) 第38回協議会
 - ・令和8年度岩内町地域公共交通計画別紙(フィーダー計画)(案)について
- 令和8年1月13日(火) 第39回協議会
 - ・令和7年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)について

令和7年度事業概要

- 【系統名】いわない循環バスノッタライン 【運行区間】岩内町内
- 【運行便数】1日8便(日曜日、12月31日、1月2日、3日は6便、1月1日は全便運休)
- 【運賃】大人 200円
小学生以下・障がい者手帳(知的・身体・精神)保持者及び介助者1名 無料
- 【運行事業者】ニセコバス株式会社

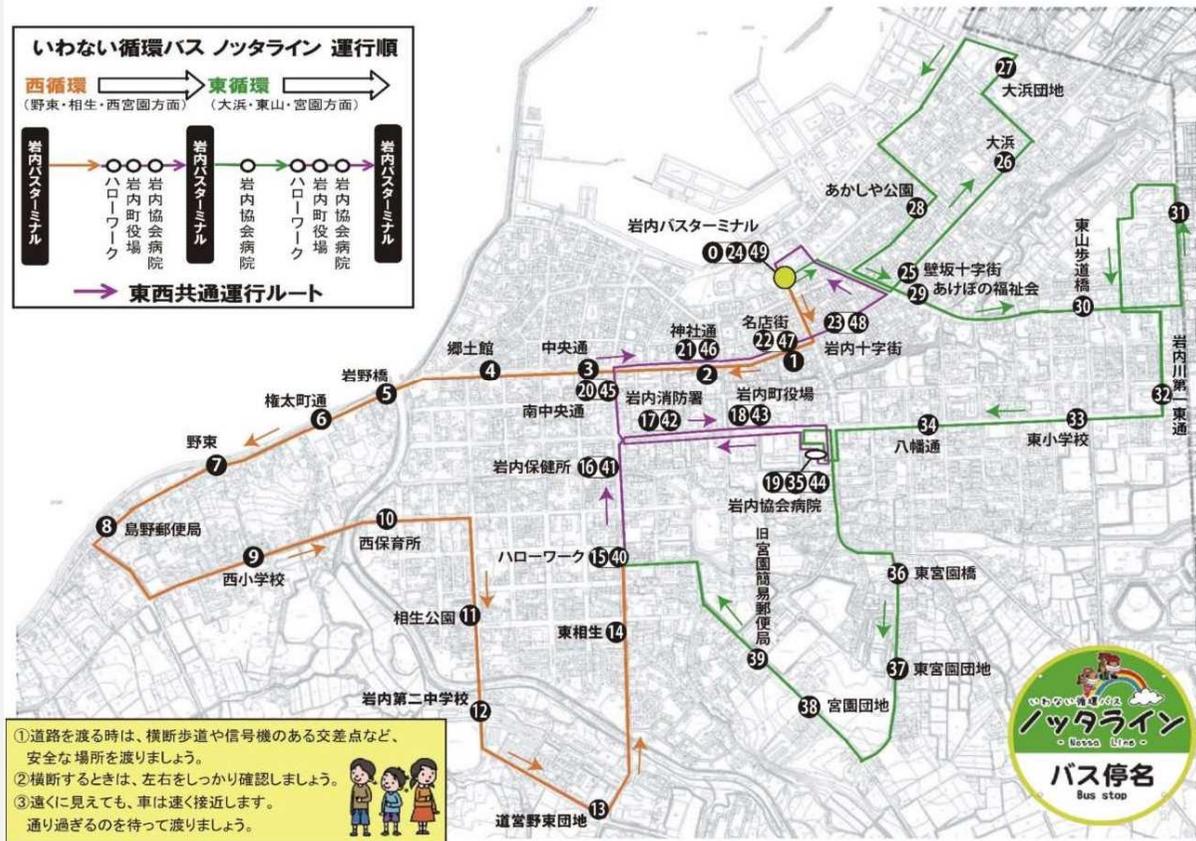
- 【系統名】岩内町円山地域乗合タクシー 【運行区間】岩内町内
- 【運行便数】1日3便(火・木曜日、12月31日～1月3日は全便運休)
- 【運賃】大人 200円
小学生以下・障がい者手帳(知的・身体・精神)保持者及び介助者1名 無料
- 【運行事業者】株式会社キングハイヤー

1) プロセス、創意工夫

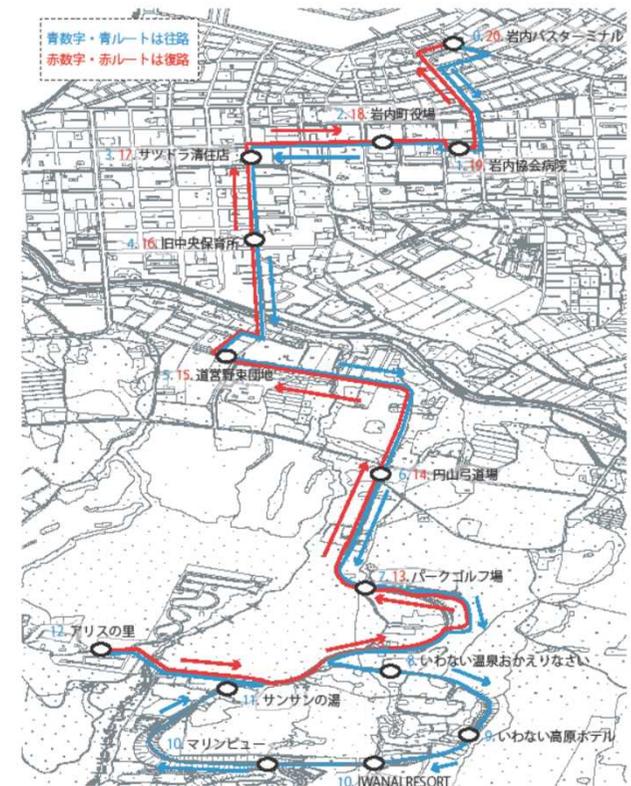
- 地域公共交通の核である岩内バスターミナルを起終点とした町内循環ルートを実現。
- 利用促進を図るため、町広報誌、ホームページによる周知の他、町内公共交通に関する情報を網羅的に示さないわな公共交通マップ「いわナビ」の作成及び配布を実施した。
- 病院、商店街、公営住宅など需要の多い場所に停留所を設置し、高い利便性を実現。

2) 運行系統

いわない循環バス ノッタライン 運行ルート図



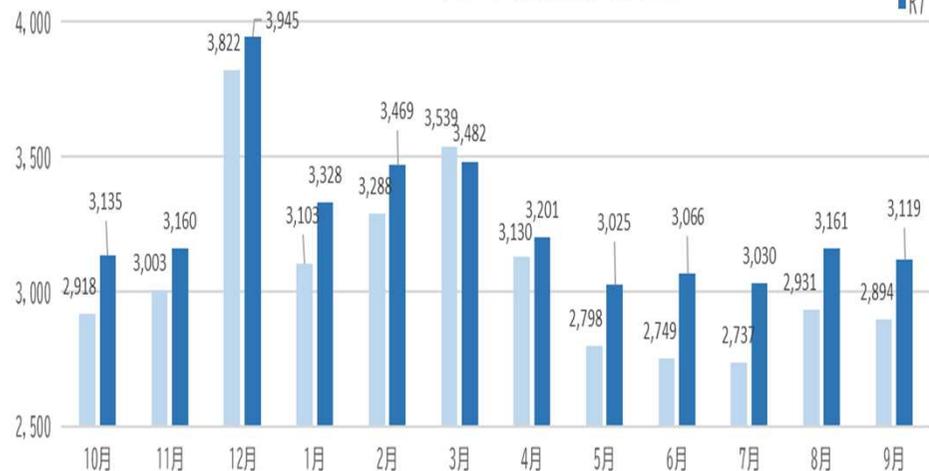
〈円山地域乗合タクシー運行ルート図〉



3) 利用実績

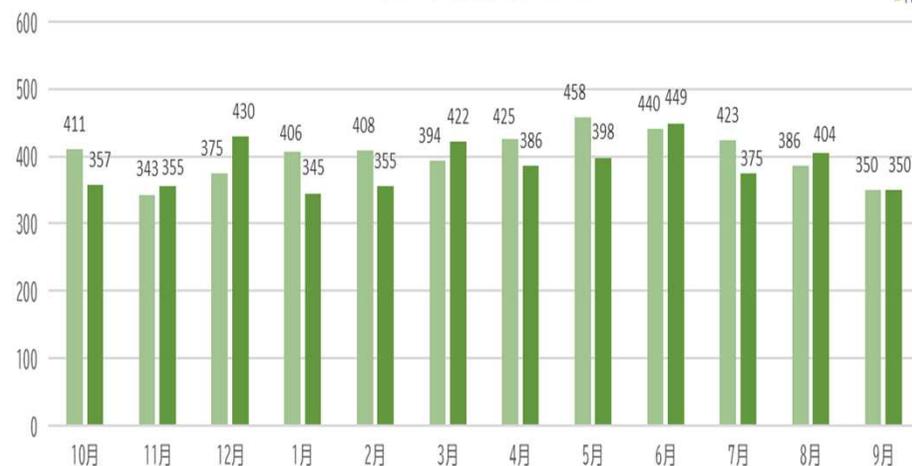
いわない循環バス

令和6年 利用者人数 36,912人
令和7年 利用者人数 39,121人



乗合タクシー

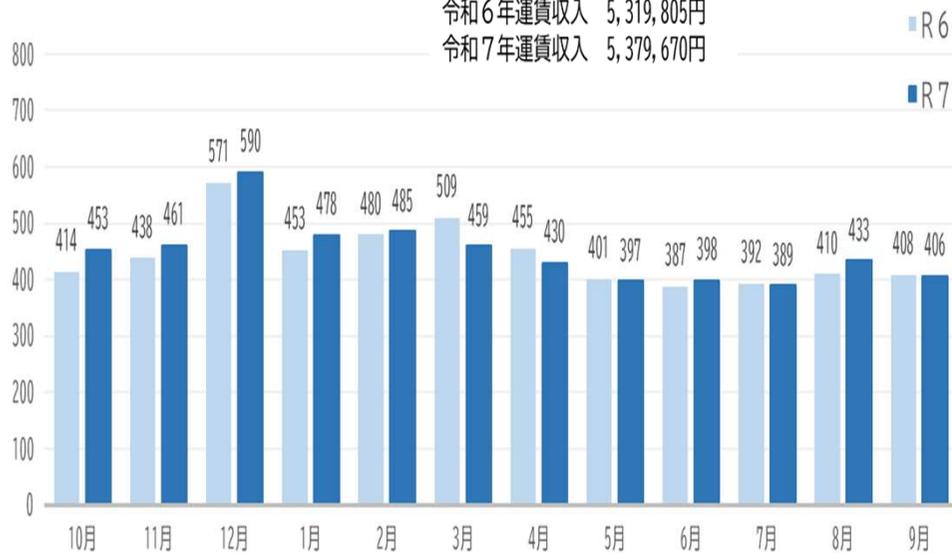
令和6年 利用者人数 4,819人
令和7年 利用者人数 4,626人



4) 収入実績

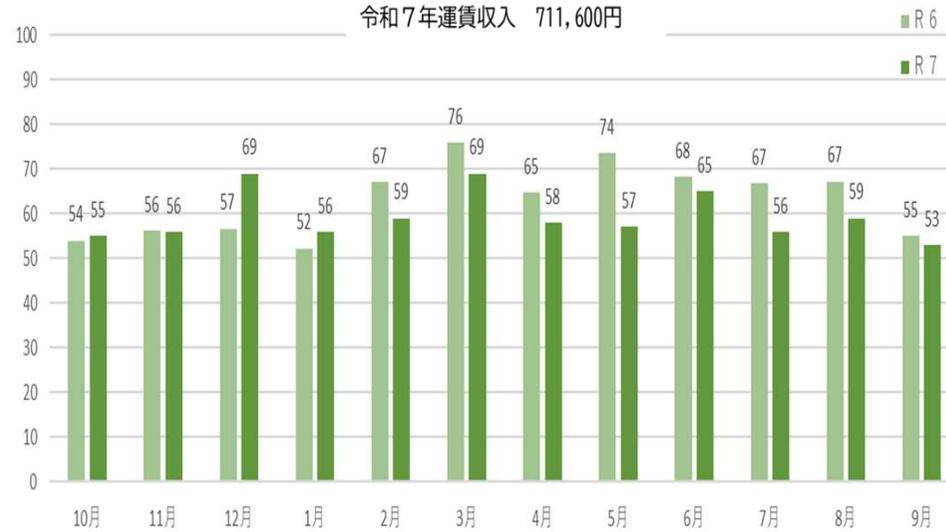
いわない循環バス

令和6年 運賃収入 5,319,805円
令和7年 運賃収入 5,379,670円



乗合タクシー

令和6年 運賃収入 757,400円
令和7年 運賃収入 711,600円



5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

【いわない循環バスノッタライン】

・事業の実施により、主に病院・公営住宅などの停留所を中心に多くの乗降者があり、高齢者をはじめ、住民の生活の足を確保することができた。また、移動が困難な冬季について、他の時期よりも乗降人数が増加し、住民の移動手段である公共交通として十分に役割を果たした。

・今年度の年間利用者数は39,121人、運賃収支率は21.9%。年間利用者数は増加したが、どちらも目標を下回る結果となった。

【円山地域乗合タクシー】

・事業の実施により、円山地域の公共交通不便地域の解消、住民の健康増進、日常生活の利便性向上など、目的を達成できた。住民の移動の手段である公共交通として十分に役割を果たした。

・令和5年6月から本格運行を開始し、令和7年度の年間利用者数は4,626人、運賃収支率は12.4%とどちらも目標を下回る結果となった。

7) 事業の今後の改善点

【いわない循環バスノッタライン】

・通院や買い物などの生活面での利便性を確保するとともに、商店街などと連携し地域の活性化に資する地域公共交通を確保する。また、広報活動を継続し安心して利用できる公共交通の実現を目指す。

・住民サービス及び利便性の向上を図るため、キャッシュレス決済の利用拡大を図る。

・令和8年4月に開校する義務教育学校児童生徒の通学利用について検討する。

【円山地域乗合タクシー】

・通院や買い物など生活面での利便性を確保するとともに、円山地域の事業者などと連携を検討し、地域の活性化に資する地域公共交通を確保する。また、広報活動を継続し安心して利用できる公共交通の実現を目指す。

・現状のダイヤについて、利用者及び円山地域の事業者からの意見を聞き取りながら、最適な運行ダイヤのあり方について検討を進める。

・デマンド実証事業を実施し、利用者ニーズや運行方法等について幅広く情報収集を図り検討を進める。

・住民サービス及び利便性の向上を図るため、キャッシュレス決済の利用拡大を図る。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・いずれの目標も達成することができなかったが、今後も地域公共交通計画に基づき、利用促進策の取組を継続することを期待する。
- ・持続可能な公共交通を維持する観点から、公的負担額といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。